

令和4年

第1回国立市農業
委員会総会議事録

国立市農業委員会

令和4年第1回国立市農業委員会総会日程

1. 日 時 令和4年1月28日 午前10時開会
午前11時閉会

2. 場 所 国立市役所2階 議会委員会室

出席者

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 遠藤 利光 | 3. 北島 直芳 | 4. 小鹿倉 薫 |
| 5. 佐伯 達哉 | 6. 澤井 武 | 7. 鈴木 政久 |
| 10. 田中 賢治 | | |

事務局

事務局長	堀江 祥生	農政係長	名古屋 悠
農政係主任	山本 雅一	農政係主任	檜垣 賢
会計年度任用職員	澤田 恵美子		

3. 議事録署名委員の指名

4. 協議事項

- (1) 令和4年度稲作体験学習会事業について
- (2) 第63回東京都農業委員会・農業者大会の中止に伴う対応について

5. 報告事項

- (1) 「第48回農業委員会等功労者」並びに「令和3年度農業功労者」表彰事業
受賞者の決定について
- (2) 地区別農業委員会検討会について
- (3) 令和3年度認定農業者の認定について
- (4) 農業者懇談会の延期について

6. その他

【遠藤会長】 おはようございます。農業委員会総会を始めさせていただきます。議事録署名委員に、澤井武委員、鈴木政久委員、よろしくお願い致します。それでは、協議事項に入らせて頂きます。

(1) 令和4年度稲作体験学習会事業について、お願い致します。

【事務局】 資料1ページ、2ページをご確認頂ければと思います。令和4年度の稲作体験学習会の予定について、時期は早いのですが、ご相談させて頂きたく協議事項とさせて頂きました。既に田植えと稲刈りについては学校側と農業委員会で日程を調整させて頂いたところですが、例年6月にAプラン、11月にBプランということで農業委員会の皆さんにご協力を頂いて訪問授業をしています。Aプランは、今年度、全校が参加をしてくださいます、恐らく来年度もほぼ全校から希望が来るのではないかと考えているところです。一方、11月に行っているBプランは、例年一小だけが手を挙げて訪問してきたところで、今後、Bプランをより拡充して各校の参加を求めたほうがいいのか、そのために農業委員会として働きかけるべきかというところを以前の総会の間でもお話をさせて頂いたところです。11月は皆さんの繁忙期と重なるため、多くの学校が手を挙げてくださってもその分負担が増えるというお話でしたので、事前の打合せで会長とお話をさせて頂き、次のような案を作りました。Aプランについては例年どおりの流れで考えています。Bプランのやり方を少し変えてみたらどうかということで、時期は1月頃に設定させて頂きました。内容は、調理実習的なことはコロナ禍においては難しいというのを見えていますので、1年間の集大成として農業委員さんを招いて児童発表の場とするようであれば応じることもできますという提案です。この内容で差し支えなければ、来週の校長会で提案をして、その上で具体的な相談を各校の担当の先生にしようと思っているところです。Bプランのやり方を柔軟にしているので、手を挙げてくれる学校が増えるとその分負担が増えるかもしれません。その点も踏まえて、現状のままいくのか、各校の参加を呼びかけるのかというところをご協議頂ければと思います。よろしくお願い致します。

【遠藤会長】 昨年、一小のBプランに4役で参加しました。お米がどんな形で利用されているかというような児童からの発表内容でした。酒造りについてもありました。お米はいろいろなことに利用されているということで、私たちが参加して多少のアドバイスや質問にも答えられるのかなと感じました。お米の消費拡大にも貢献できるのかなと考えています。参加者のご意見もお聞きしたいと思います。佐伯会長職務代理、いかがでしょうか。

【佐伯委員】 今、会長からもお話がありましたけれども、私たちも勉強させられるような立派な内容の発表をして頂きました。発表の中のアドバイスという形でしたらいいかなと思います。

【遠藤会長】 ありがとうございます。田中委員、お願いします。

【田中委員】 実施時期は1月でも構わないと思います。保健センターの先生と栄養士さんのスケジュールが調整できるのであれば、農業委員会としては、田植え、稲刈りのときよりも教室のほうが接点があるし、農業委員会の役目も理解してもらえるので、いいと思います。

【遠藤会長】 澤井委員、お願いします。

【澤井委員】 学習発表会に参加させて頂きましたけれども、学校の先生も生徒の皆さんも大変熱心に発表をされていたので、そういう場に同席させて頂くということは農業委員にとっても有益なことだと思います。

【遠藤会長】 ありがとうございます。内容については、調理という話もありますけれども、子供たちの発表会に参加するというのはいかがでしょうか。

【田中委員】 去年もそうですし、その前の年もそうですけれども、自分たちで研究して発表するというのはいいことだと思いますね。ただ授業の中でそういう時間が取れるかどうかというのは先生に聞いてみないと分かりません。

【遠藤会長】 農業委員会の方針としてはこの発表会に参加するということですね。時期ですけれども、11月、12月というのは農業者も忙しいので、できれば1月、2月ぐらいがいいかと思いますが。

【事務局】 教育委員会に聞いた限りでは、1月、2月は大丈夫だろうということでした。あとはどれだけの学校がBプランを希望するかですけれども、例年どおりの調理実習だとコロナ禍のため敬遠しているのではないかとということでした。生徒にアウトプットしてもらう手段の1つとして調理実習があるのですけれども、他のやり方でも大丈夫ですよということをこちらから提示すれば何校か追加で出てくるのではないかと思います。

【遠藤会長】 いかがでしょうか。1月の中、下旬ぐらいでしたら一番いいのかなと思います。

【事務局】 まずはどれぐらいの需要があるかを募ってみて、その結果でまた変えると。

【遠藤会長】 では、そういうことでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 次に、(2)第63回東京都農業委員会・農業者大会の中止に伴う対応について、事務局、お願い致します。

【事務局】 2月17日(木)開催予定で皆さんにもご調整を頂いていたところですが、既にお知らせさせて頂いたとおりで、コロナ禍の影響で中止となってしまいました。受賞者の皆様への賞状が後日事務局に届く予定です。賞状をどういう形でお渡しするか相談をさせて頂きたいのですが、昨年ですと、2月の総会の前にお時間を取って頂いて、受賞者の皆さんに会議室に来て頂いて、賞状、記念品、花束を渡して記念撮影を行いました。今年も同様にできるかという確認と、その場合、農業者大会の開催を考えると2月17日(木)を総会に当てていたのですが、総会の日程としては早過ぎるので、もう少し後半がいいのではないかとということ、これから感染がさらに広がる可能性も踏まえて3月の総会で式を行うことも選択肢としてあるかと思っておりますので、その点についてご協議頂ければと思います。よろしくお願い致します。

【遠藤会長】 昨年も中止になりまして、農業委員会の総会の前に表彰式を行いました。いつもでしたら祝賀会があるのですが、祝賀会費用を記念品と花束代に充てまして、記念写真を撮って終了という流れでした。今年も感染者が増えてきているので、1か月先送り、3月の総会前なら少しは動きが見えてくるのかなと考えますが、いかがでしょうか。

【田中委員】 3月でよいのではないですか。

【遠藤会長】 では、3月でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 内容につきましては昨年と同様で、積立金を取り崩してやっていますので、ご承知おき頂きたいのですが、

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 では、そのようにさせていただきます。

【事務局】 関連して東京都指導農業士の認定書授与についてですが、Aさんが受賞されまして、本来であれば2月中に東京都農林水産振興財団で授与式が執り行われる予定でしたが、これもコロナ禍の影響で中止になってしまいました。後日事務局に認定書が届きますので、その受渡しをどうするかという相談を会長ともしたところですが、ご本人宅に訪問させて頂くか、あるいは、今話題に上がりました国立市の農業者表彰式にAさんもお呼びして、一緒に表彰させて頂き、写真も撮らせて頂くというのが、広報的にも農業委員会だよりも載りますのでPRもできますし、いい案ではないかということで今検討をしています。1点懸念がありまして、表彰式にお呼びするとAさんにも花束と記念品を差し上げる必要があるため、それも積立金から出させて頂く可能性があります。それも踏まえてどういう形でさせて頂くのがいいのか、ご協議をよろしくお願い致します。

【遠藤会長】 東京都の指導農業士って何？ という方もいらっしゃると思いますので、今後、関心を持って頂くためにも、表彰式に参加して頂いて、農業委員会だよりにおいて啓蒙を図っていく課題も含めまして、一緒によろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】 ありがとうございます。報告事項に入ります。(1)「第48回農業委員会等功労者」並びに「令和3年度農業功労者」表彰事業受賞者の決定について、お願いします。

【事務局】 資料3ページですが、12月17日付けで東京都農業会議から正式に通知が来ました。4ページですが、国立市からは農業功労者感謝状としてBさんが該当しますという通知を頂きましたので、ご報告させて頂きます。以上です。

【遠藤会長】 続きまして、(2)地区別農業委員会検討会について、お願い致します。

【事務局】 こちらの検討会も中止が既に決まっております、ご予約頂いていました皆様、申し訳ございませんでした。資料7ページから11ページまでが地区別検討委員会で話し合う予定であった「農業委員会・農業会議提携活動の成果・課題と今後の取り組みについて」のまとめになります。皆様と前回ご協議させて頂いた国に対する要望、都に対する要望も9ページに改めて記載をしています。検討会が中止となったため、プロセスとして検討の場が少なくなっていますが、国立市として取りまとめた結果はこのようになっておりますのでご確認頂ければと思います。9ページの中段付近の国に対する要望の「税制等に関する要望」につきましては、皆様から多々ご意見、アドバイスを頂きまして、最終的に遺留分侵害額の請求のところを少し丁寧に書かせて頂きました。ご意見を頂きましてありがとうございました。以上です。

【遠藤会長】 次に、(3)令和3年度認定農業者の認定について、お願い致します。

【事務局】 資料12ページ、13ページになります。1月13日に令和3年度の新規認定農業者の認定書授与式が市長公室で執り行われまして、13ページの名簿の27番、Cさんが新たな認定農業者となりましたので、ここに報告させて頂きます。以上です。

【遠藤会長】 次に、(4)農業者懇談会の延期について、お願いします。

【事務局】 資料14ページをご確認頂ければと思います。農業者懇談会を2月9日(水)の夜6時から予定をし、農業委員会からは、遠藤会長、佐伯会長職務代理、田中委員、澤井委員がご出席予定でしたが、30人規模の会議になってしまうということで延期の措置を取らせて頂きたいと思っております。代替日につきましては、農業者大会の表彰式と考え方は同じで、2月中に行うのは難しいと考えまして、3月18日(金)、22日(火)、23日(水)のいずれかの6時からと考えているところです。国立市役所の会議室は全く空いていないため、農協さんの2階の大きな会議室をお借

りできることになりました。本日、日程について調整させて頂き、対象の認定農業者の方々に連絡をしたいと思っております。度々で申し訳ないのですが、開催日の日程をご協議頂ければと思っております。農業委員会からの参加は4役の皆さんにお願いできればと思っております。

【遠藤会長】 私は今のところ大丈夫ですけれども、田中委員、いかがでしょうか。

【田中委員】 大丈夫です。

【佐伯委員】 大丈夫です。

【澤井委員】 大丈夫です。

【事務局】 それでは、3月23日（水）にお願いしてもよろしいでしょうか。ご調整頂きありがとうございます。

【遠藤会長】 では、3月23日、時間は18時、JAの国立支店の2階です。その他に入ります。生産緑地の追加指定について、お願い致します。

【事務局】 来年度からの生産緑地の追加指定について都市計画課から連絡がありまして、皆さんに事前に共有をと思ひまして本日の次第に加えさせて頂きました。大きく2点ですが、1点目、指定のスケジュールが例年よりも1か月ほど前倒しになる予定で今動いていますという報告を受けています。都市計画審議会の開催スケジュールの都合上ということです。3月以降、市報に正式に載る予定で、1か月なのかそれ以上なのか、タイミングは確定していませんが、1か月程度の前倒しになると伺っていますのでご承知おき頂ければと思ひます。2点目が、これまで生産緑地の一部指定については運用上で分筆を認めていたのですが、これを規則の中で事前の分筆を明確化することを決定したようです。これも周知ができるよう都市計画課で調整はするようですが、その点が変わりますので農業委員会にご連絡くださいと伺っていますので報告させて頂きました。以上です。

【遠藤会長】 境界確定をしないと自分の都合で分筆できないこともありますね。そうするとずっとできないという話になりますよね。

【事務局長】 ただ最近、境界確定までいかないけれども登記所に申請ができる方法があるという話を聞いたのですが。

【遠藤会長】 それはもう10年以上前からですか。

【事務局長】 それで受けてもらえるのかどうかということになるかもしれないですが。

【田中委員】 分筆して登記をして明確化しないと認めるとです。しかし、費用もかかるし、結構大変です。やろうと思ったら早めに動かないと間に合わない。面積が広いと費用もそれなりにかかりますね。

【遠藤会長】 区画整理が終わっている場所なら大体分かるけれども、生産緑地指定を受けようというところは南部地域が多いと思ひますね。

【田中委員】 境界確定の石が不明なところもあり結構大変ですよね。でも、きちんとしておいたほうがいいですけれども。

【事務局】 今年度も分筆をしないままに認めるということにはなかつたようですけれども、運用の中でそういうふうに指導をしてきたので、それは運用でしょうというような話になってしまつて、最終的には、やってもらわないと指定できませんという話に落ち着くのですけれども、それで話が進まないところもあり、ここはルール化しておかないと難しいという流れの話ですね。

【遠藤会長】 もちろん都市計画課のほうもこの件に関して調査、確認していると思ひますが、他

市はどうでしょうか。他市も分筆は必要と言っているのですか。

【事務局】 そこまでは確認は取っていないのですけれども、そこは足並みがそろっていないとおかしくなると思うので、一番税金のところの話なので、慎重に考えてやっているのは間違いないと思いますけれども。国立市独自でというのは考えづらいですね。

【事務局長】 多分、ある程度その辺の情報収集はしていると思いますので、その上での申請受付の方法の変更ということを進めてきているのではないかと思います。特定生産緑地という新たな制度が始まったということで、それでいろいろ検討した中で方法を変えてきたということだと思います。

【遠藤会長】 小鹿倉委員、いかがでしょうか。

【小鹿倉委員】そこははっきりさせておいたほうがいいですね。

【田中委員】はっきりさせておいたほうが、後々、次の世代にそのまま先延ばしにするよりはいいと思います。

【遠藤会長】これはあくまでも分筆してですから、1筆全部の場合は公簿面積でいいのですか。全部測量して出せということですか。

【事務局長】部分指定についてはということです。1筆であれば今までどおりで大丈夫です。ただ1筆ではなくて、1筆の一部分だけとなると分筆をしてくださいという条件になりますね。

【田中委員】生産緑地指定には下限面積の縛りもあるから、部分指定する場合はやはりきちんと確定を取らなければ駄目ですね。

【小鹿倉委員】部分指定というのは結構あるのですか。

【田中委員】面積要件の下限が変わって300㎡になったから、これから出てくる可能性はあるのではないですか。300㎡だけ残してそこだけ生産緑地にしておこうという人はいるかもしれない。

【小鹿倉委員】そこははっきりとやっておかないと後々問題が出てくるような気がしますね。

【事務局】事前に農業委員会に方針を先駆けてお伝えしておきたいとのことで、今日、できれば連絡してくださいということで預かってきました。

【事務局長】今言ったように、費用負担とか時間もかかってしまうので、事前にお知らせをしてほしいということだと思います。

【田中委員】農業者から聞かれたときにはある程度答えを持っていないと困ります。

【遠藤会長】相談をされたら、1筆の一部だけの追加指定は今度から分筆して実測ですよと答えてください。この件についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【遠藤会長】次に、農業委員会だより55号の配布について、お願い致します。

【事務局】資料16ページをご覧ください。農業委員会だよりですが、納品が少し早まりましたので、総会前に皆さんに各地区への配布をお願いしたところでした。ありがとうございます。各地区の農業委員さんの配布以外の配布先は16ページの表のとおりとなっています。以上です。

【遠藤会長】ありがとうございます。農業委員活動記録カード集計結果についてお願い致します。

【事務局】12月の農業委員会活動記録カード集計結果をご報告致します。A「総会、全員協議会」9件、B「農業委員会・農業会議の会議・研修等」9件、C「その他の会議・会合」1件、F「現地確認」4件、G「農地パトロール」1件、計24件です。

【遠藤会長】 ありがとうございます。2月の総会日程についてお諮り致します。2月の22日、24日、25日、いずれも10時ですけれども、いかがでしょうか。

(協議)

【遠藤会長】 では、25日です。以上をもちまして総会を終了致します。

—了—